

木造都市研究会 木愛の会 主催

木の連歌

シリーズ part23

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回は2015年の谷篤子氏（ウィーン工科大学）の講演にはじまり、前回の大野暁彦氏（名市大）など「木と建築」に関わる多くの優れた建築家や研究者、実務者をお招きしてきました。

第23回目となる今回は、立松昌朗氏（西垣林業）、増田理子氏（名古屋工業大学）のお二人に持続可能社会を構築するための基礎となる生物多様性や、自然材料である茅の魅力についてご講演頂きます。

学生・会員外の方を含め、是非ご参加ください。

代表世話人 清水秀丸（椋山女学園大学）

2024年11月1日（金）
18:30～20:00

名古屋工業大学1号館
3階 309A 大学院講義室

参加申込先 Google Forms より
https://docs.google.com/forms/d/190euPwljb_

[le3XvS_VxdAV1sJv_lIowA3Ak5c-Ka3IM/edit](https://docs.google.com/forms/d/190euPwljb_)

定員 30名

（申込期限：10月25日）

参加費 学生・会員：無料

一般：1000円



申込メールが開きます

合同会社かやすけ / 西垣林業株式会社

立松 昌朗 氏

かやぶき、
生き物を育む建築

名古屋工業大学
社会工学科 環境都市分野 教授

増田 理子 氏

日本の草原と生物多様性

土木学会中部支部出前講座

タイムスケジュール

18:00 受付開始

18:30-19:15 立松 昌朗 氏 講演会※

19:15-20:00 増田 理子 氏 講演会※

※講演会にはディスカッションも含まれます

里山に残る茅葺民家は、草、木などの自然素材でできた自然に帰る建築です。かつて、茅葺屋根に使う茅（ススキ等）は茅場と呼ばれる草原で収穫していましたが、茅場が無くなった今では茅の確保も困難になっています。茅場は多くの動植物のすみ家でもあり、茅場を維持することは生物多様性を守ることに繋がっています。本講演では、茅などの植物素材がもつ可能性を様々な観点から考えます。

